



# 価格より価値で勝負する人々 日本カタクナ道場



第5弾 タケヒコ君とタケミちゃん 栃木の苔栽培を学ぶ



## 苔道場 in 栃木

日本には商品の価格より、価値を大切に物づくりをしている人がいます。

便利になった世の中で楽をせず、古くから続く材料や技法を頑なに守ることが当たり前だと考えている人がいます。

このように頑なな物づくりをしている人をタケヒコ産業は敬意を表して「カタクナ職人」と呼ぶこととしました。タケヒコ産業は「カタクナ職人」が製造する製品や材料の販売促進をサポートすることで、後世に職人技術を残すお手伝いをしていきます。素晴らしい物は作り手が残すのではなく、製品を使い、その良さを分かってくれる人が増えることで残っていくのだと考えています。カタクナ道場をきっかけに一人でも多くの方がこだわりの製品や材料に興味を持っていただければ幸いです。



日本カタクナ道場の第5弾はひっそりと存在して日本庭園の美しさを際立たせている「苔」。ワビとかサビとか分からない海外の人でも、苔むした庭園に日本を感じるはず。一面苔におおわれたモスグリーンの世界を眺めていると精霊が話しかけてくるような感覚におちいります。

庭園資材としてだけでなく、瓶の中に苔でジオラマを作る苔テラリウムやプチ盆栽を作る苔玉が女性を中心に人気が集まっています。今回の取材はそんな女性目線も取り入れるために「タケミ」ちゃんが初めて同行取材に参加してくれました。庭園素材として、また趣味の園芸としての苔のニーズなども苔を生産している職人さんにお話を聞いてきました。苔の緑のように深いお話が聞けました。

## Q1. 苔栽培を始めたきっかけを教えてください。



数十年前、大学時代に流通の勉強をやっていまして、たまたま苔のことを調べました。

苔のニーズがあるのですが、供給する人が少ないことに気が付き、自分で始めました。



独学で苔栽培を始めたのですか？



僕よりも先に苔栽培している人が栃木にいたのでやり方を聞いて見よう見まねで始めました。



えー！簡単に教えてくれたのですか？



作業しているおばちゃんに聞いたら簡単に教えてくれましたよ。あとは独自に研究重ねていきました。



親方の人柄があってこそ、苔の栽培が可能になったのですね。



森の中にオフィスがあり、所



## Q2. 苔栽培の苦労を教えてください。



失敗の連続です。先日の台風19号でも苔畑が水浸しになってしまいましたしね。

ただ失敗の中から学ぶことがおおいですね。



苔畑を見せていただきましたが、日光がよくあたる場所で育てているのですね。

色々実験しているんです。

以前はビニールハウスでも作ったりしていましたが、やっぱりダメですね。



環境がよい場所で作ると苔が弱くなります。

庭に植えた時には40℃を超える猛暑もあれば、マイナスにもなる極寒の時もあるので、環境が整いすぎた場所での育成した苔はその変化についていけなくて枯れてしまいます。



まるで子育ての現場みたいですね。

「若いうちの苦労は買ってでもしろ」みたいな感じですね。



色々な種類の苔を同時に栽培



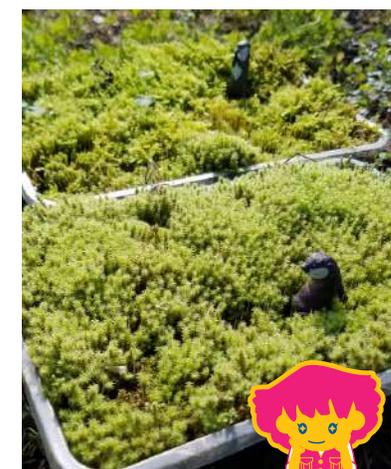
日当たりの良い場所でも苔を栽培



狭しと苔が栽培されていた



in 枋木



小物を加えると苔が可愛くなる



苔玉作っちゃいました

早速自分で苔玉制作してます



そうですね。

強い苔を作るために、なるべく苔にとって劣悪な環境で生産しています。

環境のよい所で育った苔よりも若干、緑の色が薄くはなりますね。事情を知らない方からは色が悪いとクレームが来たりするので、ちょっと困りますね。



僕も仕入れの時に苔の色ばかり気にしていたような気がします。

丈夫さの視点で苔を見ることなかったのが勉強になりました。

苔を実際に見比べると厚みのある苔とそうでない苔がありますね。良い苔、悪い苔が少しわかったような気がします。

### Q3. 今後の展開があれば教えてください。



実は今まで数種の苔を混ぜて売ることをしていませんでした。苔を種類ごとに分けて販売していたのを何種類かミックスした苔を販売しようと思っています。



苔をミックスさせる意味があるのですか？



苔には生育する条件がバラバラだったりします。その庭の環境にあう苔が何かをテストするよりも何種類も入った苔を植えれば、環境にあった苔だけが残っていきます。それに自然にある苔は何種類も混ざりあって庭園を造っています。たぶん、ミックスされている苔のが強いのだと思います。



1種類の苔よりもミックスした苔の方がかわいい感じがしますね。苔のミックスは女の子の人から人気が出そうな気がします。このまま苔テラリウムに使いそうですし、ミックスの苔を見ていたら私も育ててみたいなくなっちゃいました。



ぜひ、育ててみてください。アドバイスしますよ。



自分で育てた苔で苔玉とか作ってみたいです。もっと苔ブームになりますよ。



日本の家では庭がどんどんなくなっていくので、それを下支えしてきた苔や石など園材業界も変化せざるおえないです。今後は女性の感覚など取り入れていけば、新しい日本の庭文化を構築できるかもしれません。本日はありがとうございました。

生産地で学んでいるから自信をもっておすすめできる

# タケヒロ産業のカタクナ製品



ハイゴケ

苔玉、庭園材、テラリウム、水沈栽培など用途は多い。乾燥してもフワフワとボリュームがあるためディスプレイなどの装飾素材にも利用。



スギゴケ

大型で直立するため庭園の石材に映え、庭園材としてもっともよく使われる。



スナゴケ

河原や石垣の窪地に群生する。好日性だが朝露、夜露があたるようなところを好む。日中の水やりは厳禁。



シノブゴケ

日陰性で安定した空中湿度を好む。環境が安定しているアクアテラリウムなら育てるのも容易。



タチゴケ

スギゴケの仲間(タチゴケ属)です。葉は薄く柔らかい印象。丈が低く密生し丈夫なため、庭園、盆景などの素材に広く使われる。



コツボゴケ

半日陰で安定した湿度を好む。ほふく性で生育密度があるため、庭に密生すると美しい。



アラハシラガゴケ

山苔の一種。庭園材、苔玉、正月飾り、装飾素材に使われ、粉碎して土壌改良にも使用される。比較的生育が早く育てやすい。



ホソバオキナゴケ

以前は山苔の主流だったのですが、里山が荒れたことで入手が困難となっています。盆栽の下草や庭園材、苔玉、苔盆景などに使われる。



ヒノキゴケ

安定した湿度を好む。京都では庭園材として多く使われる。嵯峨野にある祇王寺のヒノキゴケは有名です。



コウヤノマンネンゴケ

庭園では水辺など比較的空中湿度の安定した場所に植えられる。テラリウム、苔盆栽などによく使われる。



カサゴケ

水沈栽培、水中花、テラリウムによく使われる。用土の乾草に注意すれば育てやすい。



ミズゴケ

土壌改良材の用土として乾燥した物が売られている。テラリウムで使われる。

庭園資材のことなら



ミックス苔も多数あります

気軽にお問合せください



適材適職



造園緑化総合資材

株式会社タケヒロ産業

愛知県額田郡幸田町坂崎東鳴沢 15-1

Tel:0564-63-1212

<http://www.e-takehiro.co.jp>